Kuroda International
office and access
create the future

未来は選択において存在する

黒田インターナショナルコンサルティング
黒田　毅

選択は未来そのものである。そのため為政は、未来を有するのである。

国民という礎は、国家において永遠である。

これらは新しい国家への転換への提言である。対立から融和へ、戦争という過去から、平和という未来への転換は、国策の転換において国家が新しい自己を有することができることを意味するものである。

国際情勢へ隷属するのでなく、自らが新しい世界を提案することはできるのである。

宰相は、唯一すべての決定を自己とするのである。王は唯一国民の喜びを自己とするのである。

国民が夢を持てる世界を与えること、子供たちの未来へのすべての責任が、王が有するものなのである。また東洋の書籍において、王はすべての存在の僕である。そして水は高きより、低きに流れるのである。

日の出の国の王たるは、それにおいてあるのである。西洋が優越主義を有するならば、それら正しい王としての自己は世界を集約し自己を与えることができるのである。

これらは世界への日の出として未来を与える責任を有するのである。

未来は必ず子供たちが受け継ぐのである。これが大人の責任である。

世界へのすべての責任を自己に有することは、それを決定することなのである。

一国に限定しない責任という自己は、すべての世界の人々への責任を求めなくてはいけないのである。

これらは正しい政治家に於ける態度であり、これが唯一世界との対等性を与えるのである。